

所蔵者の言葉

渡辺正ただし（通称・直士ただし）

この資料は、図らずも不肖渡辺が、終戦時参謀本部に勤めておりましたとき、未曾有の敗戦という異常事態にあつたときのもので、混乱と不安定の雰囲気の中で、私はこの敗戦から何としても祖国復興を期すべきと思ひ私の管掌しておりました多くの資料（それは雑然として何等組織的にまとまつたものではない）を焼却没収等にせずとにかく保存すべき場所は自宅しかないとしていたものです。

そして半世紀の月日が経つたが、性質上徒に巷間に散逸、譲渡すべきものではなく、況や氏素性のわからぬものに宣伝的に使われてはならず、勢い今日に至つた。それが、偶々二年前前に高木勲氏次いで金窪敏知氏を知るに及び後事を託すとすればこの人が最適と確信し、現物と顛末を話した。そしてこれらは私物化すべきではないとし、まして散失焼失すべきでなく寧ろこれらをまとめて次代に遺すべきとして、これがこの方面の泰斗である小林茂氏が知るに及び、遂には人物識見とも適格な諸先生・学者の諸氏を小林氏の裁量で選考されて、ここに上梓することになった。

本書はその諸先生方がそれぞれ担当を決めて書き上げられたものである。このような志をともにして此の種の企画をまとめたのは蓋し極めて珍しいことではないかと思ふ。それだけに不肖としてはその意図と努力に対し心から敬意を表する次第である。

（平成十六年十二月二十三日）